

ひらつか

今日もペットボトルが流れる



ガラガラガラ——。ペットボトル
ごみが次々と流れてくる、リサイクルプ
ラザの選別機。作業員は休むことなく、手
作業で異物を取り除きます。鼻をつく異臭
や会話ができないほどの騒音という過酷な
環境の中で作業を続けますが、ペットボトル
ごみが流れる勢いは止まりません。
リサイクルの流れを止めないよう、分別の方
法を見直しませんか。今号では、ペットボトルの
リサイクルの現場を紹介します。

目次

1～3面… **特集** あなたの心掛けがリサイクルを支える…ペット
ボトルごみの分別方法などを紹介します。
4～7面… 募集・健康と福祉・お知らせ・スポーツ
「子どもの健康」「お知らせ掲示板」

8面…「写真リポート」「市長こらむ」「がんばれ湘南ベルマーレ」
「次回納期の手数料」[#hiratsukagood]
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
スマートフォンアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。



あなたの心掛けが リサイクルを 支える

飲み物や調味料の容器など、私たちの身近にあるペットボトル。使いやすく、軽くて丈夫、リサイクルもできる優れたものです。しかし、きちんとした分別がされていないのが現状です。ペットボトルごみを、確実にリサイクルするために、正しい分別を心掛けましょう。

問 リサイクルプラザ ☎51-5301

選別作業は苦勞の連続

「ペットボトルごみは『ペール』と呼ばれるブロック状に圧縮し、リサイクル業者に買い取ってもらいます。買い取りの価格はペールの質が左右します。良質なペールにするために、作業員はペットボトルからキャップやラベルを外したり、異物を取り除くという作業を繰り返します」と説明するのは、リサイクルプラザを運営するエコライフひらつかの坂野功一施設長。「ペールの売り上げは、市のごみ処理費用に影響を及ぼすため、質を下げないように、日々努力をしています」と力を込めます。



ペールをチェックする坂野施設長

「ペットボトルごみがきちんと分別されていないと、異物が混じって、ペールの質が悪くなり、買い取り価格も下がります。その結果、市のごみ処理費用に充てる金額が少



なく なります。税金で賄う割合がより大きくなり、市民に負担がかかってしまうんです」と厳しい表情を見せます。現在はペットボトルにラベルが付いた状態でも、買い取られているペール。しかし、平成30年4月からペールの引き取り基準が見直され、ラベルは全てはがさなくてはなりません。ラベルがついていた場合、リサイクル業者が引き取りできなくなってしまう可能性があります。

「異物は選別作業の段階で初めて気が付く場合がほとんどです」と坂野施設長は話します。作業員は丈夫な手袋を二重に着けていますが、けがをすることもありません。「折りたたみ傘や古い布をはじめ、さまざまな異物があります。中には、注射針や包丁などが混じっていることもあり、作業員には常に危険が伴います」と顔を曇らせます。時には、機械を止めなくてはならないほどの大きな異物もあります。「レジヤシートや土のう袋は、機械に絡まり、故障の原因となります。絶対にペットボトルごみとは一緒に出さないでください」と強調する坂野施設長。機械が故障すると、施設内のストックヤード(ごみの一時保管場所)にある、ペットボトルごみの



大量に混じるペットボトル以外のごみ

処理ができなくなります。「最悪、週1回あるペットボトルごみの回収自体ができなくなるかもしれないと危機感を募らせます。また、ペットボトルごみの量がピークとなる8月は、回収量も急増するため、休業日である土曜日でも施設を稼働して対応します。」

「ストックヤードからペットボトルごみがあふれないように、作業を進めています。作業員の安全を確保しながら、素早く作業をこなさなくてはならず、猫の手も借りたくらいの忙しさですよ」と坂野施設長は苦勞を話します。

「ペットボトルごみが、リサイクルされるために、一人一人がきちんと分別することが重要です。作業員が次から次へと流れてくるペットボトルごみを手で処理するには限界があります。ごみを出す人も、処理する人も、それぞれが役割を徹底しなくてはなりません。我々も施設やリサイクルの流れを止めたくないのですから。」

次の資源へバトンタッチ

リサイクルプラザ

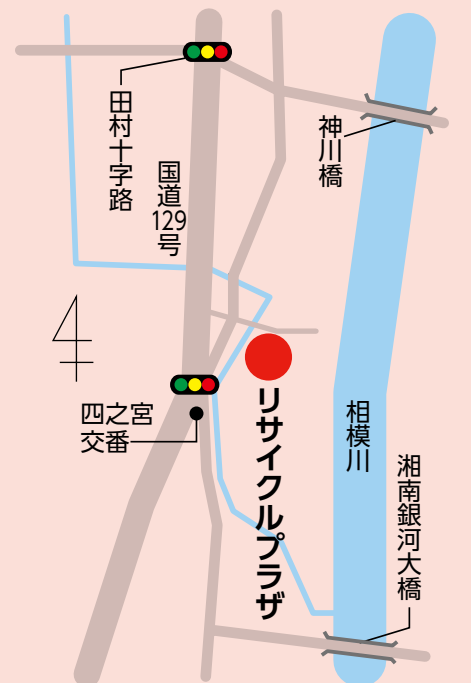
平成16年4月に操業を開始した、リサイクルプラザ(四之宮7-3-5)は、収集される資源再生物のうち、ペットボトル・容器包装プラスチック(プラクル)・空き缶類・ピンを再生工場に送るための中間処理施設です。建物は地下1階、地上2階建てです。施設内は処理をする工場部分だけでなく、図書コーナーや市民が利用できる会議室や研修室などの啓発スペースがあり、リサイクルをはじめとした、環境に関する情報がたくさん得られます。

同プラザの稼働時間は平日の午前9時～午後4時、約45人の職員や作業員が働いています。そのうちペットボトルごみの選別作業に従事する作業員は4～6人です。

年間では約790トンのペットボトルごみがリサイクル業者に引き渡されます。市内から同プラザに集められるペットボトルごみは、1週間で約15トンになります。ペットボトル飲料の消費量が増える夏になると、さらに回収する量は増え、約20トンになります。1日に処理できるペットボトルごみの量は約3トンで、500リットルのペットボトルに換算すると、約15万本分です。



市のリサイクルを担う重要な施設



1 回収



2人1組でごみ集積所から袋に入ったペットボトルごみを回収します。ごみ収集車がいっぱいになると、一度リサイクルプラザに降ろして、再度回収に向かいます。

7 加工

ペットボトルや作業着などに加工されます。

6 搬出



ペールを束ねて、積み重ねていきます。その後、随時リサイクル業者に引き渡します。

2 集積



ストックヤードに、ごみ収集車からペットボトルごみが次から次へと集められます。積み上げられた高さは約5メートルにもなります。

5 圧縮



選別されたペットボトルごみをペールに圧縮し、まとめます。1つのペールは約18立方メートル。圧縮機は2台あります。

3 投入



ベルトコンベアーで、少しずつ選別機へと送りまします。奥には破袋機という袋とペットボトルごみを分ける機械があります。

4 選別



異物を手で取り除きます。危険物が混じっているため、手袋、帽子、マスクなどを着用しなければなりません。慎重かつ素早い作業が求められます。



ペットボトルごみのリサイクルの流れ

はがしてゆすぐだけでいいだけ

「ちょっとした分別作業が、リサイクルには欠かせないと実感したんです」。中原に住む蔭山みつよさんは分別の大切さを訴えます。

定年退職後、自治会の役員を務めている蔭山さん。平成28年9月に市主催のごみ処理施設見学会に参加したことがきっかけで、ごみの減量やリサイクルに対する意識が芽生えたと話します。

地域から意識を広げる

見学会で、施設での作業の実態を知った蔭山さんは、同年11月、自治会主催の見学会を企画。参加した15人は、施設や、リサイクルの現状を目の当たりにし、ペットボトルをごみとして出す段階で、きちんとルールを守って分別することが重要だという意識を高めました。「見学会は、職員が詳しく解説してくれまし

た。質疑応答を繰り返しながらリサイクルを簡単に学べます。ぜひ、多くの皆さんに参加してほしいですね」と蔭山さんは呼びかけます。

自治会の集まりでも、分かりやすいようにクイズを交えて、ペットボトルごみのリサイクルの流れや、分別方法を話す蔭山さん。「ごみのリサイクルに関心を持ってくれる人が一人でも多く増えてほしいという思いでやっています」と力を込めます。

収集日にはごみ集積所で近所の人たちに分別の徹底を呼びかけています。「少しずつかもしれませんが、地域の中でも分別についての話題が多くなりました」と蔭山さんは啓発の効果を実感しています。

分別は誰にでもできる

「分別に、特別なことは一切ありません。キャップとラ



「まず自分自身が分別できるように、心掛けています」と蔭山さん

ベルをはがして、水で軽くゆすいで、つぶす、三つの作業だけ。あとはごみ集積所に出すだけです」と蔭山さんは言い切ります。

「きちんと分別してごみを出すと、ごみの種類や量の把握も簡単にできるようになります。自分で出したごみを客観的に見ることで、家庭ごみ全体を減らそうという意識がより強くなりました。今では、ごみの量がずいぶん減ったんです」とうれしそうに語る蔭山さん。

蔭山さんの家では、ペットボトル専用のごみ箱を作り、収集日にごみ袋の中を再度



何度もチェックしてごみ集積所へ

チェックしています。「ペットボトルごみの場合は、一見面倒かもできませんが、水回りで一連の作業ができるので、時間はかかりません。ぜひ、各家庭でも実践してほしいですね」と話します。

リサイクルプラザを見学しよう



リサイクルの過程が詳しく分かります

リサイクルプラザは、いつでも自由に見学ができます。さらに事前に電話で予約すると、職員の解説付きで施設見学や、ビデオ鑑賞などができ、リサイクルの詳しい内容が分かります。所要時間は1時間～1時間30分。集められた資源再生物がどのように選別され、引き取られるか、現場の作業などをご覧ください。

見学の予約など、詳しくはリサイクルプラザへお問い合わせください。

☎ リサイクルプラザ ☎51-5301

募 集

応募方法は
下段

市営プール売店の出店者

7月22日(土)～8月17日(木)に、湘南海岸公園プール(高浜台32-1)で、飲食物や浮輪などを販売します。

市内に1年以上在住で、売店と同じ業務を1年以上営み、市税の滞納がない方、1店舗(抽選)。5万円。

募 6月19日(月)～23日(金)、午前9時～午後5時に、本館6階のみどり公園・水辺課

21-9852で配る、申込書・誓約書に、住民票・営業証明書の写し、市税完納証明書を添えて、直接、23日午後5時までに、同課へ。

平塚競輪場でダイナー女子会

新メインスタンドができた競輪場で、ダイナーを食べながらレースを観戦します。

7月22日(土)午後2時30分～8時20分。平塚競輪場(久領堤5-1)。20歳以上で初

心者の女性30人(抽選・1組3人まで)。

募 参加者全員の**必要事項**・生年月日・メールアドレス・同競輪場への来場回数・イベントを知ったきっかけを、メールで、7月6日(木)までに、平塚競輪場 21-3935 ilgyo@。同競輪場ウェブでも申し込みます。

市民広島派遣の参加者

8月6日(日)に広島市の平和記念式典に参加します。

5日(土)～7日(月)の2泊3日。7月16日(日)に事前打ち合わせ会、8月23日(水)に事後まとめ会をします。全日程に参加できる、市内在住の小学校4年生～中学生と保護者、2人1組を10組(抽選)。

過去に参加したことがある方は応募できません。保護者2万1000円・中学生1万9000円・小学生1万4000円。募 市ウェブなどにある申込

美術館ワークショップ 親子でパステルワーク

海の生き物の塗り絵をします。7月8日(土)午前10時～正午。美術館。小・中学生と保護者10組(抽選)。200円。

募 イベント名・実施日・参加者全員の**必要事項**・年齢を、はがき・メールで、6月22日(木)までに、〒254-0073西八幡1-3-3美術館 ☎35-2111 ☎35-2741 art-muse@。メールは件名を実施日・イベント名に。



自由に色を塗りましょう

暮らしの講座

リフォームのトラブルを回避する方法を話します。1歳以上の未就学児の保育(4人先着順)もあります。

7月15日(土)午前10時～正午。市民活動センター。市内在住・在勤・在学の方50人(先着順)。

募 講座名・**必要事項**・希望の有無を、電話・メールで、市民情報・相談課 20-5775 jinsoin@。

親子で陶芸と生け花にチャレンジ

青少年会館。市内在住。抽選。初めての方を優先。

①親子陶芸教室 7月15日・29日、8月5日の土曜日、全3回、午前10時～正午。小・中学生と保護者60人。1人1000円。汚れてもよい服装でお越しください。

②親子生け花教室 7月28日・8月4日の金曜日、全2回、午後2時～3時30分。どちらか1回の参加もできます。小学生と保護者30人。1人1500円(1回の参加は800円)。タオル・筆記用具。

募 教室名・参加者全員の**必要事項**・子どもの学年・参加経験の有無を、はがき・ファクス・メールで、①は7月3



植物を使った工作もします

夏休み こども環境教室

市内在住・在学の小・中学生。抽選。保護者同伴。

①里山体験(右写真) 里山で昆虫探しなどをします。8月5日(土)午前9時～正午。荒天の場合は6日(日)に延期。里山体験フィールド(土屋1076付近)周辺。60人。

②エコキャンドル作り 使用済みの油から、ろうそくを作ります。17日(木)午後6時30分～7時30分と7時30分～8時30分。博物館。各28人。料理用油の廃油100ミリリットル・直径5センチ程度の広口瓶。

募 教室名・参加者全員の**必要事項**・生年月日・年齢・性別(②は希望する時間帯も)を、はがき・ファクス・メールで、①は7月19日(水)②は8月2日(水)までに、環境政策課 ☎21-9762 ☎21-9603 kankyo-s-event@。

夏のボランティア 市民活動を体験

市内または近隣市町に在住・在勤・在学の中学生以上の方100人(先着順)。

オリエンテーション どちらかに出席してください。7月16日(日)午後2時～4時30分。22日(土)午後5時30分～6時30分。ボランティア体験 7月17日

働きたい若者の個別就労相談

7月5日・19日、8月2日・16日、9月6日・20日の水曜日。開始時間は、午前10時・11時・午後1時・2時・3時。1回50分。勤労会館。学校などに在籍していない、未就

洋館で音楽を奏でませんか

「ひらつか音楽のおくりもの」の出演者を募集します。10月14日(土)・15日(日)、午前10時～午後6時。旧横浜ゴム平塚製造所記念館。各日8組(抽選)。

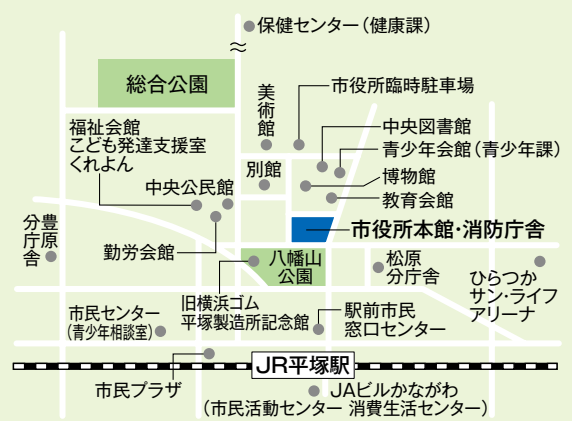
募 豊原分庁舎1号館3階の**社会教育課** ☎35-8124 ☎34-5522 k-shakai@や市ウェブなどにある申込書を、郵送・ファクス・メールまたは直接、6月16日(金)～7月18日(火)に、同課へ。



音楽のジャンルは自由です

応募方法

- 募=応募方法 (応募が必要です)
- 問=問い合わせ
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、6月19日(月)午前8時30分から、受け付けます。
- メールの応募の場合 city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

往復はがき		郵送・ファクス・メール	
住所氏名	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項	住所氏名	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項
返信	往信	返信	往信